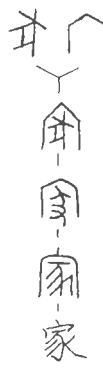


家

カケ・カケ (柳麻) Kake-kai-ka-ka (柳麻) カケ・カケ (柳麻) 姑と同音。

- 常用語訓カ「家具・民家」ケ「家来・分家」イ「家元」ヤ「家主・貸家」▽「母家(お母や)」
- 意味(一)(名)いえ(一)家族。また、その家族が住む住居。「家庭」「成家」家を成す(家庭を持つ)。「当家」家に当たる(え)にいて生業に精出す。転じて主人。「在家無怨」家に在りても怨む。無し。「論領門」
- (二)(名)いえ(一)うちや 人の住む建物。「商家」「酒家」(酒屋)「
- (三)(名)卿大夫(貴族の官人)の領地を「封国」(諸侯の領地)。「国家」
- (四)(名)王朝をたてた王室。「漢家」
- (五)(動)いえす(一)家2を構えて住む。「遵從而家焉」遵從而家す。「尊唐・柳子厚墓誌銘」
- (六)(名)専門の学問・技術の流派。また、その流派に属する者。「諸子百家」「文豪家」
- (七)(名)妻から、夫をさしていうことば。「困室」「女子生而願為之有家」女子生まれては、これが為に家有らんことを願ふ(五・藤下)
- (八)(名)いから「名家」
- (九)(名)女性に対する敬称。▽姑に当した用法。「曹大家」(「漢書」を書いた班昭の母のこと)曹世叔の妻)「
- (一〇)(一)氏族全体。「平家」



な家畜に屋根をかぶせたまふ。夏々(大屋根をかぶせたいえ)と最も近い。仮(仮面をかぶせる)胡(上)からかぶさつたたる肉とも同系のことば。▽房は、両わきのへや。舎は、からんをゆるめて休む所。屋は、上からたれるおおい。屋根。宅は、じつと定着する住居。室は、行きつまりの奥へや。

名(一)いええお・や・やか
▽一家・人家・山家・小家・大家・公家・私家・分家・夫家・王家・田家・世家・旧家・主家・生家・民家・

出家・本家・在家・当家・成家・百家・名家・邦家・作家・良家・兵家・官家・法家・画家・国家・実家・故家・皇家・室家・酒家・将家・商家・貸家・道家・貴家・貸家・富家・農家・墨家・蒙家・樵家・樵家・儒家・嚴家

【家人】カケ ①家族の人。②周易の六十四卦の一つ。三三離下巽上カケの形で、家の中を正しくするさま。③仕官しない、一般人。庶人。民間人。(史記・史記)④召使。【国】カケ ①代々、その家に仕えている家来。譜代の家来。②特に、江戸時代、祖先のときから徳川家に直接仕えている低い身分の侍。御家人。

【家口】カケ ①家族の人数。②家族の食いぶちとしての食糧の分量。損其家口充祖之欲(その家口を損じてへらし)狙(狼)の欲を充たす(列子・黃帝)【家山】カケ ①ふるまとの山。故山。②故郷。家郷。家山万里夢依稀(家山万里夢に依稀たり)陸游(野人家有題)

【家公】カケ ①他人に対して、自分の父をいうことば。「家君」「家父」「家敵」とも。②他人に対して、自分の母方の祖父をいうことば。③その家の主人。(在子・西言)【家中】カケ ①一家のうち。また、家じゅうのもの。家族。「家中願鶏食虫蛾(家中鶏の虫蛾)を食らふ」ことを厭む(杜甫・博望行)②【国】昔、大名・小名の家臣全体のこと。

【家内】カケ ①家の中。②家族の人。家人。③【国】他人に対して、自分の妻をいうことば。【家父】カケ「家公」と同じ。【家主】カケ 一家の主人。戸主。【家生】カケ ①一家の生計。家計。②日常の家庭生活のための器具。③代々、家に仕えている者。

【家世】カケ ①家から。②その家の代々のもの。「家世事酌古(家世事ごとに古を酌む)」(蘇軾・和陶郭主簿)【家本】カケ 代々、その家に伝わる文書や書物、家書。【家令】カケ ①その一家のとり締まりや切り盛りをする者。②官名。古くは、太子の家の事務をとり扱った。時代により任務が異なる。③【国】皇族や華族の家の事務管理をした者。

【家伝(傳)】カケ ①その家に先祖から伝わっていること。また、そのもの。②その家の伝記。【家老】カケ ①その家の長。②一族ちゅう

の長老。③【国】大名・小名の家臣の長。【家戒】カケ その家に伝わっている、家人のための戒め。家訓。【家君】カケ 「家公」と同じ。【家臣】カケ 家に仕える家来。天子・諸侯の家来に対して、卿大夫(カケ)に仕える家来のこと。(史記・孔子)

【家声(聲)】カケ 家の評判・名譽。【家学(學)】カケ その家に代々伝わる学問。【家居】カケ ①仕官しないで家にいること。②嫁にいかないで生家にいること。③すまい。「家居相近(家居あひ近し)」(蘇洵・送石昌言北归)

【家刻】カケ 個人で出版すること。また、個人で出版した本。家刻本。【家(國)】カケ ①国家。②故郷。【家事】カケ 家庭の生活に関する事から、また、家庭を管理・経営する仕事。【家長】カケ ①一家の主人。家主。戸主。②親方。

【家法】カケ ①家のおきて。家憲。②先祖から伝わった秘法。また、師弟代々受け継がれている学問の一派。③家庭をおさめる方法。【家門】カケ ①家の門。「居外十三年、過家門不敢入」(史記・史記)②家門。各各選家門(おのおの家門に選る)「古樂府焦仲卿妻」③家から。④故郷。【家榮(榮)】カケ 家の名譽。「祿仕而還、以為家榮」(祿仕(仕官)して還る、もつて家榮と為す)「蘇軾・祭鄭夫人文」

【家屋】カケ 人の住む建物。家。【家計】カケ その家の生活を維持するための経済。【家室】カケ ①夫婦によって構成される家庭。【室家】カケ ①子于婦、宜其家室(子の子于婦、宜其家室)②その家室に宜しからん(詩・周南・桃夭)③すまい。家。【室家】カケ 室に宜しからん(詩・周南・桃夭)②すまい。家。【室家】カケ 室に宜しからん(詩・周南・桃夭)②すまい。家。【室家】カケ 室に宜しからん(詩・周南・桃夭)②すまい。家。

【家相】カケ 家臣の長。【家宰】カケ 家の構造・向き・場所などによって考えられる吉凶の象徴としてみた家のようす。家の相。【家乘(乘)】カケ その家の記録。日記や系譜など。【家信】カケ 家族からの手紙。家書。「飛渡探家信」(蘇軾・送石昌言北归)【家政】カケ 一家の生活の切り盛りや家族のとり締まりをしていくこと。家をおさめること。【家風】カケ その家の伝統的。わし・しきたり。

【家訓】カケ その家の子孫のために残された、一家の教訓。家戒。【家宰】カケ 家来の中の長。【家老】カケ 家相。【家財】カケ ①一家の財産。家産。②家の中にある日常用品・衣料など。【家書】カケ ①代々家に伝わる本。家本。②家族から手紙。また、家族へあてた手紙。欲作家書意(欲作家書意)「家書を作らんと欲すれば意(意)万重(万重)」(張翥・思)「家書抵万金(家書万金に抵る)」(杜甫・春望)【家畜】カケ 生活や仕事に役立てるために家で飼う動物。鶏・馬・豚など。【家庭】カケ ①家族の生活する所のこと。②家の庭。③家族がともに生活する集団。【家徒】カケ 家族。【家郷(郷)】カケ ふるさと。故郷。【家眷】カケ 家族。一家眷族。【家産】カケ 家の財産。身代。【家堂】カケ 家のへや。▽「堂」は、門からはいって正面の大へや。

【家果】カケ 妻子その他自分が養い、ゆんどうをみなければならぬ者たち。一家の保果。▽個人的な家族の関係で足手まといとなる者の意。「蘇軾・李季書」【家給人足】カケ 家も、また、どの人も生活が豊かなこと。「淮南・人間」【家・賈】カケ 一家の財産。家財。▽「賈」は、宝。【家集】カケ ①その家の人々の作品を集めた本。②【国】個人の和歌を集めた歌集。いえのしゅう。【家童】カケ 召使である若者。また、下男。【家僮】カケ 史引藤壘、家童開竹扉(史引藤壘は藤の扉を開き、家童は竹の扉を開く)「白居易・歸震宅」【家道】カケ ①家庭における道徳。「易・家人」②家の生活の切り盛り。家政。【家業】カケ ①先祖から代々伝えられた職業。②一家の生計をたてるための職業。【副訓ナリハヒ(別名)】カケ 家で飼う鳥。【家資】カケ 家の財産。家産。家財。【家慈】カケ 他人に対して、自分の母をいうことば。【家督】カケ ①一家を監督する者。あつぎの長男のこと。②一家の戸主としての身分や権限。【家語】カケ ①家の記録。家記。②書名。「孔子家語」の略。▽付録「中国の名著」【家塾本】カケ 家塾(個人のつくった学校)で出版した本。

【家訓】カケ その家の子孫のために残された、一家の教訓。家戒。【家宰】カケ 家来の中の長。【家老】カケ 家相。【家財】カケ ①一家の財産。家産。②家の中にある日常用品・衣料など。【家書】カケ ①代々家に伝わる本。家本。②家族から手紙。また、家族へあてた手紙。欲作家書意(欲作家書意)「家書を作らんと欲すれば意(意)万重(万重)」(張翥・思)「家書抵万金(家書万金に抵る)」(杜甫・春望)【家畜】カケ 生活や仕事に役立てるために家で飼う動物。鶏・馬・豚など。【家庭】カケ ①家族の生活する所のこと。②家の庭。③家族がともに生活する集団。【家徒】カケ 家族。【家郷(郷)】カケ ふるさと。故郷。【家眷】カケ 家族。一家眷族。【家産】カケ 家の財産。身代。【家堂】カケ 家のへや。▽「堂」は、門からはいって正面の大へや。【家果】カケ 妻子その他自分が養い、ゆんどうをみなければならぬ者たち。一家の保果。▽個人的な家族の関係で足手まといとなる者の意。「蘇軾・李季書」【家給人足】カケ 家も、また、どの人も生活が豊かなこと。「淮南・人間」【家・賈】カケ 一家の財産。家財。▽「賈」は、宝。【家集】カケ ①その家の人々の作品を集めた本。②【国】個人の和歌を集めた歌集。いえのしゅう。【家童】カケ 召使である若者。また、下男。【家僮】カケ 史引藤壘、家童開竹扉(史引藤壘は藤の扉を開き、家童は竹の扉を開く)「白居易・歸震宅」【家道】カケ ①家庭における道徳。「易・家人」②家の生活の切り盛り。家政。【家業】カケ ①先祖から代々伝えられた職業。②一家の生計をたてるための職業。【副訓ナリハヒ(別名)】カケ 家で飼う鳥。【家資】カケ 家の財産。家産。家財。【家慈】カケ 他人に対して、自分の母をいうことば。【家督】カケ ①一家を監督する者。あつぎの長男のこと。②一家の戸主としての身分や権限。【家語】カケ ①家の記録。家記。②書名。「孔子家語」の略。▽付録「中国の名著」【家塾本】カケ 家塾(個人のつくった学校)で出版した本。